第2520地区
ひろがれ
まわれ
一つ心に
2019～2020

MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第18回例会(11月22日)
令和元年11月29日発行

クラブ事務所　岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例　会　場　同上　TEL 019(651)1111㈹
例　会　日　毎週金曜日12時30分～
http://www.morioka-rc.jp/

会　　長　西島光茂
幹　　事　勝　雅行
会　　報　金沢　滋
クラブ事務局　TEL 019(653)5682
FAX 019(653)5622

RI会長テーマ　ROTARY CONNECTS THE WORLD:ロータリーは世界をつなぐ…マーク・ダニエル・マローニー
盛岡RC会長テーマ　ー令和元年：世の為、人の為、奉仕を続け、輪を繋げましょうー西島光茂

新入会員卓話

ホームスパンの歴史

㈱日本ホームスパン 代表取締役社長
菊池 完之 様

●スピーカー紹介●

菊池完之社長　略歴・1956年3月1日生まれ、1973年3月、花巻北高校卒業。1976年4月、上智大学経済学部入学。1978年3月、上智大学経済学部卒業。1978年4月、㈱イトイ・テキスタイル入社（東京）。1980年3月、㈱イトイ・テキスタイル退社。1980年4月、㈱日本ホームスパン入社。1988年5月、取締役就任。1995年5月、社長就任。　現在に至る。

1．日本の近代化と羊毛生産のはじまり

近代化とともに着物から洋服へ変わりました。当初はイギリスから洋服地を輸入、国家予算の3割が生地代になるくらいだったそうです。自給のため羊の導入を開始しました。最初は千葉県で始め、湿度が高いところでは飼育できないことがわかり、長野県、福島県の阿武隈山地、北海道、そして岩手県北上山地がパイロット地区に選ばれました。冬は雪が少なく寒く湿度が低いわけですね。特に岩手県は雑木林が多く、田んぼが少ないので農家の副業として適していると推奨されました。一説には二戸地区ではじめに飼育され、たまたまスコットランドからきた宣教師がホームスパンの本格的な作り方を教えたと言われていますが、確かなことはわかりません。

岩手県で飼育が始まり、やがて大正期に第一次世界大戦に突入すると輸入が不便になりました。国内では羊毛は、明治期は警察官や郵便局員の制服などに使用され、やがて軍服や毛布に使用されました。最初は日清、日露戦争、シベリア出兵というように寒いところにいくわけです。それに従い、羊毛の需要も増えていきます。ちなみに八甲田山の事件をご存じだろうと想いますが、将校さんは羊毛のコートを着ても兵隊さんは綿入れだったために、濡れると凍ってしまったと言われています。

とにかく防寒用の服地を作らねばならず、大阪中心に毛布や厚手の生地をつくるようになりました。岩手県でもホームスパンの技術もあったために、軍から指示が下り、岩手県のお役人さんがイギリスに渡り、製品を持ってきて農家に渡して生産を拡大したと言われています。

2．昭和の戦前から戦後へ

一時は農家の主婦がホームスパン制作に励みました。三越デパート、和光百貨店が各農家に直接買い付けにいっていたことから、ウール100％は非常に高価なものでした。が、昭和に入り軍需となり、一般の農家が勝手に生産できなくなりました。農家でのホームスパンはいったん廃れてしまいます。

遠野のジンギスカンは有名ですが、あれは羊の生産の名残です。終戦後になりますが、私の生まれた東和町（現花巻市東和）では大変羊が多く、昭和24年の国勢調査では人口12,000人に対して親の繁殖用羊は1,550頭でした。各農家には必ず羊がいて、小学生も手伝いをしていました。飼育密度も東和町は日本一でした。

私の父は中国戦線から帰還し、終戦の混乱期、地元の羊毛を生かすべく各農家がやっていた羊毛生産を再開しようとしてＧＨＱの担当官にマフラーをプレゼントした成果か、倉庫の羊毛をただで払い下げてもらい、(株)河東（かとう）ホームスパンを復役軍人中心に設立しました。ところが、復役軍人では存続できなくなり銀行から資金を得て、この会社を受け継ぐ形で当社の現在に至っております。

私が会社に入ったときには純粋に手織りでした。防寒に優れていますが、100％では暑すぎるとの声が上がりました。当時は空調も良くなったんでしょうね。

3．シャネルとの取り引き

イッセイや(株)ビギとの取引をしてから30年以上になりました。

ちなみに、今度、芝生広場に出される皆川明さん（株式会社ミナ・ミナペルホネン）はイッセイにおられたので、ホームスパンのことはよくご存じだったのですね。

さて、ヨーロッパの示会に日本から出してはいたのですが、ヨーロッパの素材を使っても反響しない。日本は日本の素材を使わないと勝負にならなくなりました。そしてバブルになりまして、繊維

関係が中国に進出し出しました。こんな商売やめようか、と思っていました。でもヨーロッパでなら、と思い、2001年にテクスワールド国際見本市に生地だけ出しました。私がついていたのは、2001年9月には9・１１が起きました。シャネルのスタッフもあちこちへ動けなくなり、展示会を見てうちの生地も見つけてくれました。「日本のホームスパンを探せ」とエージェントに指令が来たようです。

半年ぐらいしてある展示会でエージェントから私に「サンプルを出してくれ」と言われ、出したわけです。鮒を釣りに行ったら鯉が釣れたみたいです。2002年から17年間、おかげさまでシャネル社と取引を続いています。

その間、生地目付の安定を求められました。ヨーロッパは重さなんですね。それまでは手織りなんで人により重さが違う。で、昭和40年代に使われたシャトル織機を導入し現在の生産体制に移行しました。当社の生産工程は、手紡ぎ糸という凹凸があり強度の弱い糸を織るために、すべての工程において出来る限り糸にテンションを加えない手法が用いられています。また、糸にテンションを加えず低速で織りますので，ストレッチ性の高い柔らかい織物ができます。

シャネルに言われたこと。①３m離れてもシャネルとわかる物をつくりたい。②シャネルは驚きを与える。感動に変わり、感動は満足に変わる。③エコなブランドはシャネルである。エコは経費がかかるといわれるが、同じ質量で世界一経済的価値を生み出すのはシャネルである、と。どうせなら、小量で高いものを売るのも好いかと想うようになりました。現在は、手織りの技術を最大限に活用し、年間約700点のテキスタイルデザインを開発し、多品種少量生産の織物工場として国内外に織物を供給しております。また、当社は、手紡ぎ・手織りの技術を持つ世界一小さな一貫工程を持つ工場といえます。

私自身もついていたな、と思います。盛岡のショップは材木町にオープンして30年が過ぎました。お聞きいただき、誠にありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

例会報告

第18回例会
令和元年11月22日㈮

12時30分　開会点鐘
・司　会　米内正副会長
・ロータリーソング
（それでこそロータリー）
・ゲスト　菊池完之様
（㈱日本ホームスパン
代表取締役社長）
・会長報告　米内正副会長
・誕生祝　橋本孝史君
・結婚祝　土屋克之君
・幹事報告　大平騰一副幹事
・委員会報告

【他クラブ例会変更のお知らせ】

●盛岡北R.C.＝
12月18日㈬クリスマス家族会のため18：30～時間変更
●盛岡西R.C.＝
11月28日㈭　12月1日㈰ＩＭに例会変更
12月19日㈭年忘れ家族会のため18：30～時間変更
12月26日㈭特別休会
●盛岡南R.C.＝
12月3日㈫　1日㈰第一分区ＩＭに振替
12月17日㈫クリスマス家族会のため18：30～時間変更
12月24日㈫休会
●盛岡中央R.C.＝
11月26日㈫旅行報告会のため28日㈭18：30～時間変更

【ニコニコBOX】

◆中村芳樹君…先週の日曜日に陸前高田復興マラソン11kmに参加し、見事に完歩しました。翌朝は膝の痛みがひどく、普通に歩けない状態になってしまい、準備不足に反省しきりでした。マラソン後に高田松原津波伝承館に行きましたが、素晴らしい施設と展示でした。大勢の方が真剣な眼差しで見ていたのが印象的で、震災の記憶が未来に伝承されることを願ってニコニコします。
◆金沢滋君…㈱日本ホームスパンの菊池社長様のお話をきいて、ふと、村上春樹の「羊をめぐる冒険」を思い出しました。そこにも岩手は登場しますね。貴重なホームスパンの歴史をうかがえてニコニコしています。

●メークアップ
久慈RC=下道君
盛岡西RC=橋本君
クラブ委員会＝
荒川・岡村・大泉・大平・田中・海野君

出席報告　会員数/76名　出席数/40名　出席率/56.3%　前々回/73.9%

プログラムのお知らせ

・11月29日㈮　新入会員卓話　上野好章会員
「損保ジャパン日本興亜とデジタル戦略について」
・12月６日㈮　ゲスト卓話　赤坂環様（ミニコミ誌「てくり」編集者）
「『てくり』の15年と取材を通して見た『盛岡』」
13日㈮　年次総会
20日㈮　年忘れ家族会
27日㈮　年末休会

●本号編集担当／橋本　孝史